

研究実施のお知らせ

2021年8月15日 ver.1.0

2021年9月9日 ver1.1

研究課題名

JTAS を用いた救急外来トリアージにおけるリスク因子の抽出に関する検討

研究の対象となる方

2021年4月から2026年3月末の間に島根大学医学部附属病院救命救急センターを受診された方で15歳以上の方。ただし救急車により搬送された方を除きます

研究の目的・意義

現在、日本国内の一定以上の規模または受診患者数を有する救急医療施設では、受診患者の緊急度・重症度について判定し診療の優先度を判定する「救急外来トリアージ」が施行されています。島根大学医学部附属病院では、この救急外来トリアージにおいて Canadian Triage and Acuity Scale (CTAS) を参考に作成された Japan Triage and Acuity Scale (JTAS) を使用しその判定を行なっています。しかしながら、当院を受診される患者さんの中には通常の JATS のトリアージスケールでは包含できない臨床状況や重症度判定の場面が少なからずあることがわかってきました。このため、より詳細に重症度判定を行うための因子解析を行い、より安全な救急外来受診環境を構築することを目的としています。詳細については島根大学医学部救急医学講座・島根大学医学部附属病院救命救急センターホームページ (<https://suh-er.jp/>) に掲載しています。

研究の方法

この研究は、診療録にある記録から以下の情報を収集します

【基礎観察項目】

- 1) 年齢
- 2) 性別
- 3) 受診時間
- 4) 受診地域（受診までにかかる時間や病院からの距離の概算に使用します）
- 5) 既往歴
- 6) 島根大学医学部附属病院の受診歴（なし・過去に治療・診療中）

【身体初見観察項目】

- 1) 主訴・症状
- 2) 初期診療時の Vital Sign
- 3) 看護師の初期トリアージレベル

4) その他診断に関連する重要な病歴

【診断後の検査・観察項目】

- 1) 転帰および入院の場合はその病棟
- 2) 診断
- 3) 後方視的にみた事後トリアージレベル

この研究に参加された場合、診療情報など、この研究に関するデータ等は、個人を特定できないように記号化した番号により管理します。あなたの個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。

研究の期間

2021年11月16日～2026年12月31日

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。また、結果の透明性の確保のため、解析に用いたデータを公開する可能性もありますが、その際にあなたのお名前など個人を特定できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部救急医学講座 准教授 山田 法頭

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、受診から1年以内までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部救急医学講座／附属病院救命救急センター 山田 法頭

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2402 FAX 0853-20-2402